国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料
平成30年3月8日
本資料の発表をもって解禁

大河津分水路改修事業起工式を挙行します
～抜本的改修の本格工事の着手に向け～

大河津分水路は大正11年（1922年）の通水より90年以上が経過し、洪水処理能力不足や施設の老朽化等が課題となっています。

その対策として、平成27年度から河口山地部の拡幅を主とした「大河津分水路改修事業」に取り組んでおり、これまで調査設計、用地取得及び準備工事等を進めてきました。

この度、本格工事の着手に向け、地元選出の国会議員、新潟県、関係市町村等の皆様方のご臨席のもと、起工式を挙行いたします。

日　　時：平成３０年３月１７日（土）１０：００から

場　　所：寺泊文化センター「はまなす」（長岡市寺泊磯町７４１１－１４）
（別紙参照）

主　　催：国土交通省北陸地方整備局、大河津分水改修促進期成同盟会

次　　第：式辞、祝辞
事業計画説明
小学生からのメッセージ(長岡市立寺泊小学校、燕市立分水小学校)
鍬入れ

関連行事：起工式終了後、分水太鼓の演奏、寺泊「塩たき節」「酒つくり唄」の演舞が執り行われます。
また会場では、ＶＲ(仮想現実)技術を用いた映像体験ブースの設置、大河津分水学習成果の展示(新潟市立桜ヶ丘小学校・立仏小学校)などを行います。

※事前の申込み不要で、どなたでもご覧いただけます。

同時発表記者クラブ
新潟県政記者クラブ、新県政記者クラブ 長岡市記者会、長岡地域記者会 三条市記者室、十日町記者クラブ、 小出郷新聞、小千谷新聞、越南タイムス、 FMゆきぐに、エフエム魚沼、業界紙

【問い合わせ先】

国土交通省　北陸地方整備局　信濃川河川事務所
広報担当　専門官　　山田　耕治（やまだ　こうじ）
電話：0258-32-3020（内線216）

大河津分水路改修事業起工式

信濃川大河津分水路の河口部を拡げることを主とする改修事業が、いよいよ本格的に始まります。
地域が永らく待ち望み、地域の安全･安心をより一層確かなものにする大改修のスタートです。
皆さん、ぜひお集まりください。

日時・会場

平成30年3月17日(土) 10:00～

寺泊文化センター「はまなす」(長岡市寺泊磯町 7411-14) TEL:0258-75-5155

事前の申し込みは不要。どなたでもご覧になれます。

■ プログラム (10:00 ～ 11:00 頃)

- 式辞、祝辞
- 事業計画説明
- 小学生からのメッセージ
  長岡市立寺泊小学校
  燕市立分水小学校
- 鍬入れ

■ 同時開催

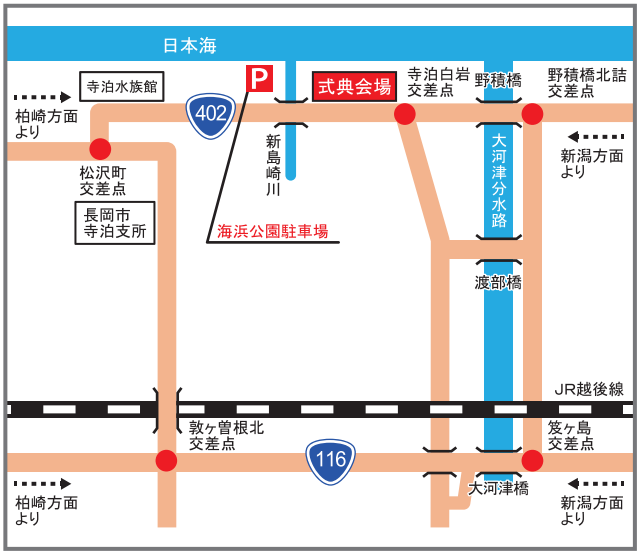
▶11:00 頃～

・分水太鼓の演奏、寺泊「塩たき節」「酒つくり唄」の演舞

▶常 設

・ＶＲ(仮想現実) 技術を用いた映像体験ブースを設置
・大河津分水学習成果の展示 (新潟市立桜ヶ丘小学校･立仏小学校)
・信濃川･大河津分水写真コンテスト入賞作品展示

■ 会場のご案内



■ 一般のご来場者の駐車場について

- 一般のご来場者は、式典会場の駐車場をご利用いただけません。
- お車でお越しの際は、右図に示す海浜公園駐車場にお停めください。
- お乗り合わせなどご配慮いただきますとともに、係員の誘導にご協力をお願いいたします。

【主催】国土交通省北陸地方整備局、大河津分水改修促進期成同盟会（新潟市、長岡市、三条市、燕市、加茂市、田上町、弥彦村）
【お問い合せ】国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所　〒940-0098　新潟県長岡市信濃 1-5-30　TEL：0258-32-3020

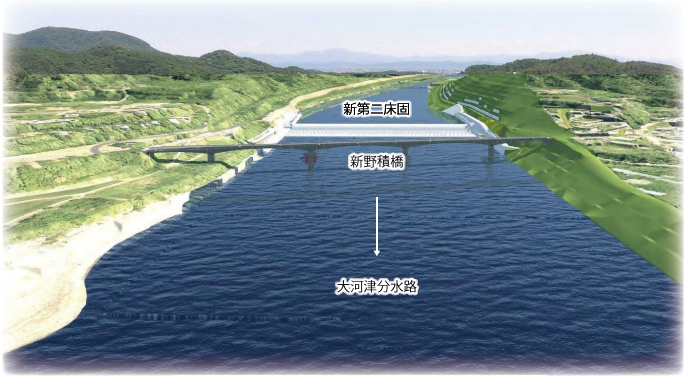
大河津分水路改修事業実施により姿が変わります！

大河津分水路改修事業起工式

信濃川大河津分水路の河口部を拡げることを主とする改修事業が、いよいよ本格的に始まります。
地域が永らく待ち望み、地域の安全・安心をより一層確かなものにする大改修のスタートです。

現　在

将　来

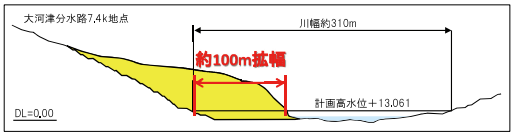


平成 30 年 3 月 17 日
国土交通省北陸地方整備局

大河津分水路改修の概要

大河津分水路改修の事業内容

- 目　　的：戦後最大規模（S56年8月）と同規模の洪水に対して家屋浸水被害を防止・軽減
- 事業箇所：新潟県長岡市、燕市
- 事業内容：放水路の拡幅（山地部掘削、第二床固改築、野積橋架替等）
- 全体事業費：約1,200億円
- 事業期間：H27年度～H44年度



スケジュール　大河津分水路改修の全体工程計画

	H27 1年目	H28 2年目	H29 3年目	H30 4年目	H31 5年目	H32 6年目	H33 7年目	H34 8年目	H35 9年目	H36 10年目	H37 11年目	H38 12年目	H39 13年目	H40 14年目	H41 15年目	H42 16年目	H43 17年目	H44 18年目
用地取得																		
掘削工																		
新第二床固																		
現第二床固切下げ工																		
野積橋架替工																		

※上記工程については、平成27年3月時点の計画であり、今後変更となる場合があります。

大河津分水路の改修がもたらす効果

流域全体の治水安全度向上

大河津分水路の洪水処理能力の向上は、信濃川下流域に対する治水安全度の向上はもちろんのこと、信濃川中流域でも大河津分水路の洪水処理能力の向上に合わせて河川改修を推進することが可能となり、戦後最大規模の洪水に対して、浸水被害の防止又は軽減を図ることが可能となります。また、新潟県内の河川改修の進捗に合わせて、上流の長野県区域の河川改修を推進することが可能となり、信濃川流域全体の治水安全度が向上します。

水位低下効果

戦後最大規模の洪水が流下した場合、蔵王橋付近より下流において水位が計画高水位以下となり、信濃川本川の堤防の決壊等による洪水被害の危険度が低減します。

また、洪水時の本川水位が低下するため、黒川等の支川の排水も改善され、内水被害の軽減等の効果が発現します。

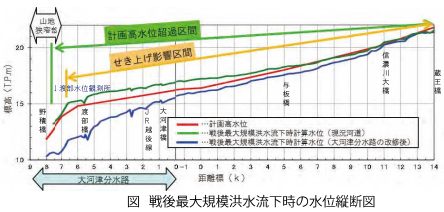
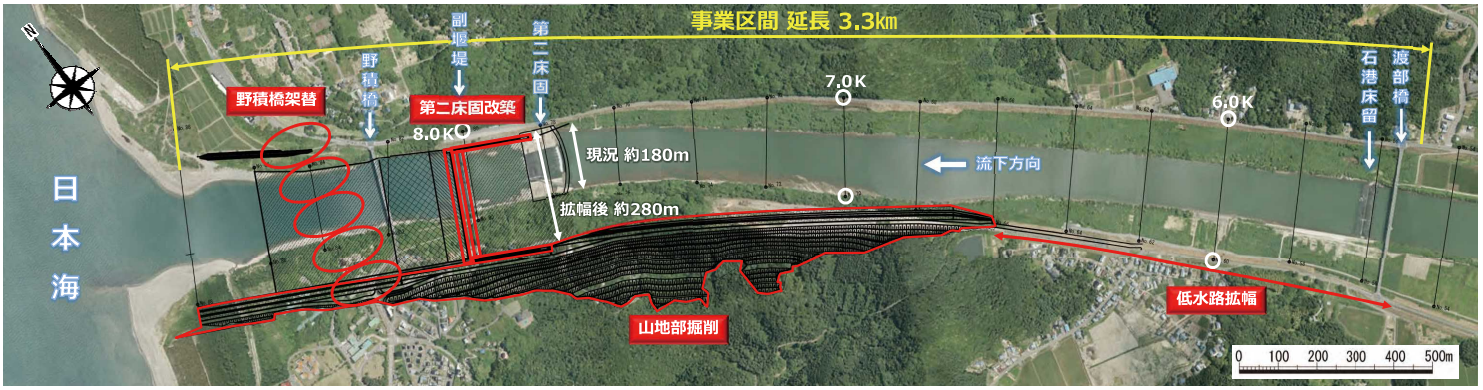


図　戦後最大規模洪水流下時の水位縦断図



※各施設の構造等については、平成27年3月時点の計画であり、今後変更となる場合があります。